

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	35014	
事業名	身体障がい者入浴サービス費						
評価担当課	所属名	保)障がい保健 障がい福祉課					
	課長名	木下	担当者名	三上	電話番号	211-2936	
施策名	主	-					
	副						
アクションプラン	○ 対象 ● 対象外		戦略ビジョン	○ 対象 ● 対象外			
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費						
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理						
事業内容	実施形態	○ 直営 ○ 一部委託 ● 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他					
	目的	短期	家庭の事情により入浴の困難な在宅の重度身体障がい者に入浴の機会を提供し、その方の健康保持や保健衛生の向上を図り、もって福祉の増進に資する。				
		長期	家庭の事情により入浴の困難な在宅の重度身体障がい者に入浴の機会を提供し、その方の健康保持や保健衛生の向上を図り、もって福祉の増進に資する。				
	取組内容	訪問入浴: 利用者の自宅において、移動入浴車により入浴サービスを提供する。 施設入浴: 障害者支援施設や特別養護老人ホーム等の施設の入浴設備を利用する。 入浴回数: 週2回(年間104回)					
	実施結果	訪問入浴: 10, 104件 施設入浴: 338件					
事業実施における工夫点	特になし						
対象者	家庭の事情により入浴の困難な在宅の重度身体障がい者			開始	昭和57年度	終了	0年度
関連法令・条例・要綱等	札幌市身体障がい者入浴サービス事業実施要綱						
他都市の状況	回数は他政令指定都市と比較して低水準だったが、平成27年8月から利用上限回数を増加(月4回⇒週2回)したことで平均以上となった(札幌市を除く19都市中7都市が週2回以上)。						

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	131,233	140,706	126,361	140,754	
うち特定財源	4,392	4,813	3,793	3,491	
人工	0.1	0.1	0.0	0.0	
人件費	720	720	0	0	
計(事業費+人件費)	131,953	141,426	126,361	140,754	
事業費の内訳	令和3年度決算	普通傷害保険料: 22千円 訪問入浴: 121, 282千円 = 10, 104件 × 12, 003円 施設入浴: 378千円 = 338件 × 1, 120円 寝台自動車借上料: 4, 679千円 = 337件 × 13, 882円			
	令和4年度予算	普通傷害保険料: 22千円 訪問入浴: 136, 077千円 = 11, 197件 × 12, 153円 施設入浴: 339千円 = 302件 × 1, 121円 寝台自動車借上料: 4, 316千円 = 302件 × 14, 293円			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	訪問入浴利用延べ回数			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	11,979件	11,245件	10,104件	11,197件	
	指標名	施設入浴利用延べ回数			
活動指標2	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	406件	418件	338件	302件	
	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
成果指標1					
	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
成果指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	在宅で生活する重度障がい者の保健衛生の向上に役立ったと考える。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	他都市の類似事業と同程度の利用上限回数となっている。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	利用者が、身体や家庭の状況等により、自宅への訪問あるいは施設での入浴を選択できる制度としており、利用者の利便性が確保されているため、適切な事業手法であると考え。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	従前から要望のあった利用回数の上限増が達成されているため、一定のニーズは満たされていると考える。(年最大48回→年最大104回)			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応		<input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映
今後の改善点	何らかの事情で利用できなかった回数を翌週に繰越可能にするなど、より利用しやすい仕組みを検討する必要がある。また、施設入浴の利用単価が1,200円と安価であるため、長期的には、移設入浴の利用単価の見直しを検討する必要がある。				
前回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	なし		見直し効果額 (前年度)	0 千円	
今回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	本事業の意義は高く、継続して実施することが必要であるが、施設入浴の利用単価が1,200円と安価であるため、利用単価の見直しを検討する必要がある。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	<input type="checkbox"/> 改善 ● 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 平成27年度に利用上限回数を見直したため、当面は現状維持とするが、長期的には施設入浴の利用単価の見直しを検討する必要がある。			
	予算	<input type="checkbox"/> 拡充 ● 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他 平成27年度に利用上限回数を見直したため、当面は現状維持とするが、長期的には施設入浴の利用単価の見直しを検討する必要がある。		見直し効果額	0 千円